

平成26年度第4回木更津市史編集委員会 会議録

1. 会議名 平成26年度第4回木更津市史編集委員会

2. 開催日時 平成27年3月25日(水)午後2時00分～3時00分

3. 開催場所 木更津市役所6階委員会室

4. 出席者 市史編集委員会委員 出席9名

金子馨委員長、三浦茂一副委員長、成田篤彦副委員長、島立理子委員、
椛山林継委員、川戸貴史委員、實形裕介委員、石井良幸委員、堀切由彦委員
教育委員会事務局7名

初谷幹夫教育長、鹿間和久教育部長、齊藤良二教育部次長、今関章文化課長、
小高幸男副主幹、中能隆副主幹、寺原進主事

5. 議題及び公開又は非公開の別

報告1 平成26年度第3回木更津市史編集委員会議事内容(公開)

議題1 木更津市史編集部会の設置(案)について(公開)

議題2 市史調査協力員の登録(案)について(公開)

議題3 平成27年度木更津市史編集事業公開講座(案)について(公開)

その他(公開)

6. 傍聴人 1人

事務局(今関文化課長)

定刻となりましたので、ただ今より平成26年度第4回木更津市史編集委員会を開会いたします。本日の進行を務めます文化課の今関でございます。よろしくお願ひ致します。

本日の市史編集委員会につきましては、池田委員から都合によりご欠席、また島立委員から遅れる旨の連絡がありましたので報告いたします。会議につきましては、附属機関設置条例第6条第2項の規定により成立しております。また会議は公開となっており、傍聴人は1人でございます。それでは委員会の開催にあたりまして、初谷教育長よりごあいさつ申し上げます。

初谷教育長 皆さんこんにちは。春盛りとなってまいりました。博物館では「請西藩 林家が遺したモノ」という企画展を開催しておりますが、その博物館で「博物館でお花見を」という企画に向けて準備中で、太田山の桜も大分膨らんできて、3つ4つ花開いたと報告を受けております。そういう時期で、年度も押し詰まった時期に金子委員長はじめ委員の方々にお忙しい中をお集まりいただきありがとうございます。今年度最後の市史編集委員会でございますが、前回の協議

内容を受けまして、事務局のほうで「木更津市史編集部会の設置（案）について」他 2 件、用意させていただきました。ご意見、ご指導をたまわりたいと考えております。よろしくお願いいたします。

事務局（今関文化課長）

金子委員長より、ご挨拶をたまわりたいと存じます。

金子委員長 年度末になりまして、色々とお仕事を持っておられる方もいらっしゃいますが、ご出席いただきありがとうございます。新しい『木更津市史』の編集ということで、市史編集の基本構想及び基本方針について決議していただきましたあと、前回から市史編集の具体的な活動になります市史編集部会、そして編集に協力してくれる調査協力員のことを議題にして話し合いましたが、いくつか課題になっていることを今回は審議して進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

事務局（今関文化課長）

ありがとうございました。会議に入る前に資料確認をお願いします。本日の次第、出席者名簿、席次表、報告事項として 1 から 3 ページまで、議題として 4 から 9 ページまで、市史編集委員会日程を 10 ページに載せております。抜けているページは、ありませんでしょうか。

それでは議事に入ります。議長は委員長が務めることとなっておりますので、これからの議事進行を金子委員長にお願いいたします。

金子委員長 これより議長を務めさせていただきます。本日は 1 つの報告事項と、3 つの協議事項が事務局から提出されております。はじめに報告事項について事務局から説明願います。

事務局（今関文化課長）

報告事項といたしまして、前回の木更津市史編集委員会議事結果についてご報告いたします。

前回の市史編集委員会では、継続協議中の『木更津市史』編集基本構想及び基本方針（案）の策定について、また木更津市史編集部会の設置についてご協議いただきました。委員の皆様から出された主な意見と事務局からの回答内容については、資料 1～3 ページのとおりです。

まず市史の編集基本構想及び基本方針（案）についてでございますが、別表の見直しに伴う修正で内容を大きく変えるものではございませんでしたので、出席された委員の皆様のご了承をいただきました。

また別表の内容ならびに『(仮称) 木更津市史研究』につきましては、いくつ

かご指摘をいただきましたが、部会が立ち上がってから必要に応じて見直すということでご了承をいただいております。

次に市史編集部会の設置につきましては、特に部会が行う会議について再度検討するようご意見をいただいたこと、また市史調査協力員のように登録証の発行についてもご意見をいただきました。それを踏まえて本日の議題としております。

市史調査協力員に関する規程につきましては、市民協働による市史編集作業を進めること、市史編集部会委員の作業を補助するといこうことをご了承いただきましたが、事務局で再度見直し事項がございますので、このあとの議題としてご協議いただく予定でございます。

その他として公開講座に関する質問がございました。これについても本日の議題として、のちほどご協議いただく予定でございます。

なお第3回市史編集委員会の詳細につきましては、会議録として市のホームページで公開しております。会議録のご希望があれば委員会終了後に事務局までお申してください。私からは、以上でございます。

金子委員長 ありがとうございます。ただいま事務局からご報告いただいた事項について、質問・ご意見があればお願いします。

質問はないようなので、本日の議題について事務局の説明をお願いします。なお議題第1号および第2号については、関連する議題ですから一括で説明願います。

事務局（今関文化課長）

はじめに議題第1号木更津市史編集部会の設置（案）についてでございますが、先ほどもご報告したようにいくつか修正点がございました。修正点について、担当の小高総括より説明いたします。また議題第2号の市史調査協力員の登録（案）についても続けてご説明いたします。

事務局（小高副主幹）

それでは説明させていただきます。初めに木更津市史編集部会設置（案）についてでございますが、下線部分が修正箇所です。

第1条に「部会の設置」について記載しております。前回、市史編集部会に関する規程の中で、古代、中世といった専門の部会が市史編集部会の中での位置づけが判りにくいようでしたので、8つの部会を「専門の部会」と表現し、市史編集部会はこれらの専門の部会で組織されることを明記します。また8つの部会が同時に組織されるのではなく、市史の刊行計画で示したように資料調

査等の開始時期が違っておりますので、調査等の開始時期にあわせて組織するようになりますので「必要に応じて」としております。

第2条に「組織」について記載しております。前回の編集委員会では、市史編集部会は「部会委員」で組織されるとしておりましたが、「部会長」と「部会委員」で組織されるということで「部会長」を追加しております。また委員は教育委員会が委嘱するようになりますので、前回「教育長」としていたものを「教育委員会」に変更しております。

「部会長」は部会委員の互選で決定するとしておりましたが、八王子市にならって「部会長」「部会委員」とともに教育委員会で選定して委嘱します。これは第3条で示すように「部会長」は資料の調査等だけではなく、それぞれの専門の部会を代表し、部会を取りまとめる立場をお願いすることになりますので、「部会委員」とは別に委嘱いたします。また「副部会長」については特に定めず、必要に応じて「代理者」を選任することにしております。これはそれぞれ専門の部会に所属する委員の数を特に定めておりませんので、部会によっては2～3人程度となることも考えられます。少人数の部会では「副部会長」を置いても余り意味をなさないだろうと考え削除しました。

第4条に「委員証の交付」として新たに記載しております。前回のご意見を踏まえ、部会委員にも交付することとしております。「委員証」は資料5ページに掲載しております。また部会は「部会長」と「部会委員」で組織されるので、それぞれに委員証を交付します。

第5条に委員の「任期」について記載しております。委員の任期は2年で、教育委員会が委嘱するので「継続して委嘱する」としております。

第6条の「秘密保持」について新たに記載しております。これは市史調査協力員にも「秘密保持」をうたっているもので、市史編集部会でも同様にしました。

第7条に「会議」について記載しております。前回は会議の取り扱いについて指摘がありましたので、教育委員会と市史編集委員会の求めに応じて開くことに限定しております。仮に部会長から会議を開いて欲しいという要望があれば教育委員会に相談していただき、「教育委員会の求めに応じて会議を開く」というようになります。また会議の議長を「部会長が行う」というのは、専門の部会の部会長の中から教育委員会が指名して行うことになります。また会議に出席する部会長も、教育委員会が出席を求めた部会長となります。

第8条に「委員の身分」について新たに記載しております。これは市川市にならっております。部会委員を選定するにあたり、他の機関に所属している方

も委員として依頼することを考慮して定めております。

第9条に「部会の庶務」について記載しております。委員は教育委員会が委嘱するので、庶務は教育委員会としております。市史編集部会の設置については、以上でございます。

続きまして、資料6・7ページの議題第2号市史調査協力員に関する規程(案)でございます。下線部分が修正箇所です。

まず第3条の「登録の条件」についてですが、前回の会議においては「18歳以上」の年齢制限を設けておりましたが、地元の高校の郷土史クラブ等に協力を求める場合を考慮して「市内在住・在勤・在学の者」としております。ただし中学生以下は除外するため「義務教育課程に就学中の者は除く」と規定しております。

第5条の「登録証の交付」では、調査中の登録証の所持について別項目として記載しております。

第9条の「経費」についてですが、前回の会議では「交通費の支給」について記載しておりましたが、「交通費」は目的地、走行距離に応じて算定しなければならないこと、調査場所が変わったとき距離算定の根拠が定かではないこと、仮に必要経費のように支給するとなると「謝礼」扱いになり、謝礼を支給すると「有償ボランティア」になってしまいます。「有償ボランティア」だとボランティア保険に加入できないため、交通費の支給は取り消しております。

第10条の「秘密保持」については、たとえば調査で知れた個人情報は法令で保護を定めているので、ボランティア登録中の秘密保持だけではなく、登録を取り消した後についても、追加して法令に遵守するよう記載しております。私からは、以上でございます。

(途中、島立委員入室)

金子委員長 事務局より議題第1号、第2号について説明がありました。はじめに第1号の木更津市史編集部会の設置(案)についてですが、修正内容を見ますと前回の議案の中でわかりにくい箇所について修正されているようですが、いかがでしょうか。皆さんから意見があればお願いします。

川戸委員 部会設置第6条の「知れた情報」の部分ですが、一般的に個人情報のことであることは認識できますが、これは拡大解釈すると、調査によって様々な文書の情報とかそういったものも含まれるのかということが心配されます。一般的にこのような条文ですと、個人情報に係るものに限定されるというふうに考えてよろしいでしょうか。

事務局（小高副主幹）

個人情報に係るものと考えております。ただ、資料の所有者から、所在場所等を口外して欲しくないという要望もでてくると思われれます。そういった場合も外部に漏らせない情報というようになります。この点は、状況に応じて判断していきたいと考えております。

堀切委員 第2条1項に規定されている組織の「部会」というのは、第1条第2項で「考古部会」から「デジタル作業部会」までありますが、これまでを全部ひっくるめたものという理解でよろしいでしょうか。

事務局（小高副主幹）

「部会」は堀切委員のおっしゃるとおりでございます。

堀切委員 そうしたときに第7条で「会議」について規定されておりますが、会議には「部会委員」は出席しなくていいという理解でよろしいでしょうか。

事務局（小高副主幹）

「会議」につきましては、「部会長」のみとなります。

堀切委員 わかりました。

成田副委員長 「会議」の議事録は公開しますか。

事務局（小高副主幹）

基本的に公開します。

成田副委員長 第6条で、知れた情報というのは主に個人情報だということでしたが、自然の場合は、貴重な動植物だと所在地を安易に知らせると採られてしまうというようなことがあります。そういうものを含めて考えたほうがよろしいと思います。

事務局（小高副主幹）

今の点につきましては、先ほど川戸委員からの質問にお答えしたように、資料によっては外部に漏らさないほうが良いというケースについては秘密を守るという立場にたっていきたいと思っております。

金子委員長 ほかに意見がないようでしたら、議題第1号については市史編集部会を立ち上げて調査等を開始する中で修正する必要がある場合は、その都度見直すということよろしいでしょうか。

出席委員 了承

金子委員長 それでは了承ということで、事務局は木更津市史編集部会の設置にかかわる事務を進めてください。

事務局（今関文化課長）

承知いたしました。

金子委員長 次に第2号ですが、いかがでしょうか。

それでは、第2号に関する事務局案について見直しの意見はないようなので、これについても市史調査協力員を登録して、調査等を行う中で修正する必要がある場合は、その都度見直すということによろしいでしょうか。

出席委員 了承

金子委員長 それでは了承ということで、事務局は事務を進めてください。

事務局（今関文化課長）

承知いたしました。

金子委員長 次に議題第3号木更津市史編集事業公開講座について、事務局の説明をお願いします。

事務局（今関文化課長）

議題第3号についてでございますが、前回の編集委員会において来年度以降の公開講座についてご質問がございましたので、来年度事業としてご提案させていただきます。資料の9ページでございます。詳細は小高総括より説明いたします。

事務局（小高副主幹）

それでは説明をさせていただきます。来年度の木更津市史編集事業公開講座（案）についてでございますが、まだ部会が立ち上がっておりませんので、平成24年度に刊行いたしました『図説 木更津のあゆみ』の解説講座というような内容で開催を検討しております。

内容は「中世～戦国時代 江戸湾をめぐる武田氏－戦国時代の木更津と真里谷氏－」としております。これは、昨年3月26日に行いました平成25年度第4回木更津市史編集委員会におきまして、「盤洲干潟のいきものたち」の次に開催を計画したものでございます。講演会と周辺の史跡等の文化財散策もあわせて行いたいと考えております。開催の時期ですが、現地の散策もありますので、7～8月の暑い時期を避けて比較的過ごしやすい9～10月の土・日のいずれかを開催日として考えております。講師は市史編集委員会委員や、『図説 木更津のあゆみ』の執筆者等をお願いするようなことになろうかと考えております。私からは、以上でございます。

金子委員長 事務局より議題第3号として来年度の木更津市史編集事業公開講座について説明がございました。公開講座については、前回の編集委員会でも行ったほうが良いということでしたので、編集委員会委員も協力しながら行えればと思い

ます。公開講座の実施時期、内容について、また今回は講演会と見学会を合わせたものになっております。その点も含めながらご意見を申し上げますが、公開講座のテーマが「中世～戦国時代 江戸湾をめぐる武田氏」ということです。この内容ですと川戸委員のご協力をいただかなければならないと思いますが、まずは川戸委員ご意見を申し上げます。

川戸委員 以前からこの案はありましたので、覚悟は決めておりました。実施に関しては結構だと思います。あと実務的には、講師依頼者や時間配分など、個別に交渉させていただくということをご了解いただければと思いますがいかがでしょうか。

梶山委員 これは1回ですか。それとも何回か行ないますか。

事務局（小高副主幹）

1回を考えております。

金子委員長 他にありますか。池田委員も中世がご専門ですから、池田委員がお出でになっていれば意見を伺いたいところですが、他の委員の方からの意見はございませんか。

第3号について見直しの意見はないようですから、了承ということでよろしいでしょうか。

出席委員 了承

金子委員長 議題第3号は了承ということで、事務局は事務を進めてください。

事務局（今関文化課長）

承知いたしました。

金子委員長 委員の方々から貴重なご意見をいただきました。その他として議題以外の意見はございますか。

事務局には前回の課題についてよくまとめられており、皆様も納得されておりますので、事務局からはその他としてありますか。

事務局（今関文化課長）

協議いただく議案はありませんが、報告と紹介事項がございます。まず報告として、前回の市史編集委員会で説明いたしました資料調査にかかわる広報活動についてですが、市の広報4月号で資料の所在に関する情報提供をお願いする文章を掲載する予定でございます。紹介事項として今月14日から6月15日（月）まで、郷土博物館金のすずにおきまして企画展「請西藩 林家が遺したモノ」を開催しております。ぜひお越しいただきご覧いただきたいところでございます。企画展の内容につきましては、石井委員がご出席ですので、石井委

員にお願いします。

石井委員 「請西藩 林家が遺したモノ」ということで、博物館で請西藩林家に関する展示は今回で4回目になります。展示につきましては、市史編集委員会の三浦副委員長、實形委員の林家の文書に関する解説・整理等、大変ご尽力いただきました。ありがとうございました。おかげをもちまして、今回企画展の開催がなかったものでございます。また先日(3月21日(土))、記念講演「江戸城大奥の部屋方奉公と万里小路」ということで、國學院大學栃木短期大學の田中正弘先生にお出でいただき講演会を開催いたしました。当初70名ほど募集したのですけれども、大変多くの申込みがございまして、講師の先生の許可を得て申込者全員の100名近くの方にお出でいただき、部屋があふれんばかりになり、2時間超の長いご講演をいただきました。

また展示期間は6月15日までということで、今回は初めて展示するものがございます。是非、ご覧いただきたいところでございます。

金子委員長 ありがとうございます。事務局のほうで他にありますか。

事務局(今関文化課長)

4月5日(日)に太田山公園の桜の広場を中心に「博物館でお花見を」ということで、昨年(平成26年)から博物館で開催しております。当日は、博物館の入館料も無料になりますので、ご家族連れでお越しただいただければと思います。

金子委員長 事務局から提案した議題について、委員の皆様方の了承を得ることができました。本日の議事は以上で終了となりますので、議長の職を解かせていただきます。ありがとうございました。

事務局(今関文化課長)

金子委員長ありがとうございました。以上を持ちまして第4回木更津市史編集委員会を終了させていただきます。委員の皆様方には、長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。なお次回の市史編集委員会の開催につきましては、来年度5月頃の開催を予定しております。日程が決まり次第、ご案内いたします。

最後に、初谷教育長よりごあいさつ申し上げます。

初谷教育長 今日は慎重なご審議ありがとうございました。前回までは、事務局の案が不十分なため再考を要するというで議題持ち越しとなりご審議いただきました。今日は、(案)が取れて無事に形が整いました。金子委員長をはじめ、委員の方々には心からお礼申し上げます。

事務局（今関文化課長）

本日は、ありがとうございました。

平成 27 年 3 月 25 日

議事録署名人 木更津市史編集委員会

委員長 金 子 馨